

自由や愛語り合おう

徳山高専が
哲学カフェ

コーヒーやお茶を飲みながら「自由」や「愛」などについて語り合う徳山工業高等専門学校(高専)の哲学カフェが29日夜、周南市銀座の徳山高専夢広場で始まった。

徳山高専の小川仁志准教授(38)が、哲学に気軽に親しみ生活を見直すきっかけにしようという狙いで企画。高専内で開いていたが、市民が参加しやすいよう場所を市街地に移した。

この日は「どうして他人のことが気になるのか」がテーマ。約20

人が「自分にはないものを持っている人が気になる」「欲があるから気になる」などと意見を交わした。同市城ヶ丘、主婦仲子照子さん(71)は「若い人と話して刺激を受けた」と喜んでいました。

今後、月1、2回のペースで、水曜日の午後5時から5時半から開く。「仕事と遊び」「新興宗教」「ミス・ユニバース」などのテーマを予定している。小川准教授は「問い続けて、人生を豊かにしてほしい」と話していた。(持田謙二)

市街地で開催 市民も参加



市街地に場所を移して始まった徳山高専の哲学カフェ